

4月1日から

# ごみの出し方が変わります 家電製品・ガス石油器具が「粗大ごみ」となります

これまで「金属類」として取り扱っていた下記の家電製品・ガス石油器具は、「粗大ごみ」として分別・廃棄をお願いします。ごみステーションに出しても収集されませんので、ご注意ください。

## 令和3年3月31日(水)まで

〈対象となる家電製品・ガス石油器具〉

- ・オーブントースター
- ・オープンレンジ
- ・ガスコンロ
- ・ストーブ
- ・カセットコンロ
- ・ガス炊飯器
- ・卓上コンロ
- ・電子レンジ
- ・トースター
- ・ファンヒーター
- ・湯沸かし器



ごみ収集カレンダーの「金属類」の日に所定の収集場所に出す。



それぞれの地域のごみ収集業者が収集。



次のとおり変わります

## 令和3年4月1日(木)から

〈対象となる家電製品・ガス石油器具〉

- ・オーブントースター
- ・オープンレンジ
- ・ガスコンロ
- ・ストーブ
- ・カセットコンロ
- ・ガス炊飯器
- ・卓上コンロ
- ・電子レンジ
- ・トースター
- ・ファンヒーター
- ・湯沸かし器



・ごみ収集カレンダーの「粗大ごみ(申込制)」に記載されている担当地域のごみ収集業者へ収集を申し込む。

・申込日に自宅の玄関先にごみを出しておく。

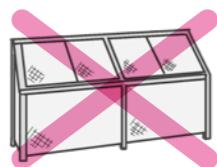
※「粗大ごみシール」を購入する必要があります。



・申し込みを受けたごみ収集業者が、玄関先からごみを収集。

ご注意ください!!

ごみステーションに出しても収集されません。



●問合せ 生活環境課 環境政策係 ☎ 0256・77・8167

公益社団法人 つばめいと



TSUBAMATE

# 「地域再生大賞」 準大賞を受賞!

●問合せ つばめいと(つばめ産学協創スクエア事務局) ☎ 0256・64・8850



全国の地方新聞46紙と共同通信社が、地元へ活力を与え、他地域のモデルとなる活動に取り組む団体を表彰する「第11回地域再生大賞」。つばめ産学協創スクエア事業を運営する「公益社団法人つばめいと」が大賞に次ぐ準大賞を獲得する快挙を達成しました!

## つばめ産学協創スクエア事業とは?

市と連携し、宮町地内の宿泊・交流施設「つばめ産学協創スクエア」を拠点にインターンシップの受け入れをコーディネートしています。学生・大学と市内企業をつなぎ、燕の産業や地域の活性化を目指す事業です。

(注) 学生が企業などで就業体験を行うこと。

## 受賞のポイントとは?

ものづくりの産地と若い世代や消費地との連携に、インターンシップ受け入れという手法が奏功していると評価されました。

将来に向けての人材確保につながるほか、若者を受け入れることで、地元企業や地元商店街も刺激を受け、新たな動きを見せています。



市内企業でのインターンの様子。企業側も若者を受け入れることで新たな気づき。

## 多くの学生が燕に来ました!

これまでに累計780人を超える学生がスクエアを利用し、燕を体感しました(令和3年1月末時点)。

受け入れる学生は県内・県外だけでなく、海外にも広がっています。単なる就業体験のみならず、経営者と間近に接する機会があることもスクエア事業の魅力です。



宿泊施設スクエア内でも交流しています(写真は2019年の様子です)。

## 学生への応援物資発送も!

地元・燕を離れて大学などで勉強している学生に、お米などの物資を送った「ふるさと燕学生応援事業」。つばめいととは、発送作業や寄付者を募るなど事業の中核を担いました。インターンシップ受け入れで得たノウハウを生かし、全国の学生から喜ばれています。

海外からの留学生も受け入れています。地域の皆さんとの国際交流も進みます。



## これからも燕が持つ力を若い人たちに伝えたい!

「燕の企業と全国の学生をつなげる」ための事業が全国的にも認められ、本当にありがたいと感じています。

事業開始から、燕市内の企業や農家の皆様、そして他にも多くの方々が、私たちの取り組みを「燕の将来に必要なこと」として共感してくださり、携わってくれました。

そんな、燕市民が持っているエネルギーを源にした活動が高く評価され、あらためて、燕市はすごい力を秘めている街であると確信しています。

これからも燕が持つ力を若い人たちに伝え、燕の未来がより豊かで明るいものになるよう、私たちが今できる活動を進めてまいります。



つばめいと事務局長  
新潟大学工学部助教  
わかばやし えつこ  
若林 悦子さん